





受賞者のその後の取組（平成 29 年現在）

平成24年度 文部科学大臣賞 「個人・グループ・学校」分野 受賞	受賞者名 広島県福山市立山南小学校	
	所在地 広島県福山市	
	受賞テーマ ドリーム S A N N A プロジェクト ～ふるさと山南の環境を守るために 私たちにできることは何だろう～	
1. 活動継続 あり 受賞後も 3 R 活動の推進に向けて、継続的に進めている。主な活動は、 ① 環境 委員会を中心に資源回収（アルミ缶・スチール缶 ・ペットボトル・紙類 等） ② 公園等の清掃活動 ③ 環境啓発ポスター，エコ新聞作成 ④ 環境学習出前授業実施 ⑤ 地域・P T Aによる資源回収 などである。		
		
缶回収	ペットボトル回収	環境学習
2. 活動の広がり あり <ul style="list-style-type: none">継続的に取組を進めていく中で、新しく環境委員会をつくり 3 R 活動や校内緑化・美化活動を活性化した。また、ふくやま「エコトライアスロン」へ参加することで、子どもたちがより一層自分たちの活動として意識し、地域・家庭・校内への呼びかけなど多くの創意工夫した活動が生まれた。特産物「沼隈ぶどう」と福山市の市章「こうもり」をもとにした山南小教育推進キャラクター「ブドウモリ」を作成し「ふるさと山南」のアピール活動を行っている。		
3. 活動の進化 あり ユネスコスクールとして登録され、今までの取組をもとに、E D S（持続発展教育）の観点を明確にし、児童に持続可能な社会の担い手に必要な知識・能力・態度・価値観を身に付けさせることを目的とし、活動状況を国内外のユネスコスクールに向けてホームページ等で発信し、学校間ネットワークを広げている。		
4. 今後の計画 <ul style="list-style-type: none">ユネスコスクールとして、E S D の観点を明確にした活動に改善・発展させていく。山南小教育推進キャラクター「ブドウモリ」を通して「ふるさと山南」を活性化していく。		

【表彰概要】

同校では、学校と地域の絆を大切に、様々な環境問題が深刻化する中で、環境教育の重要性を深く認識し、人間と環境との関わりについて正しく理解して自らが責任ある行動をすることを促し、持続可能な社会形成に向けて主体的に参画できる人材の育成に努めている。

持続可能な社会は、社会的公正や経済など幅広い領域と関係することから、『持続可能な開発のための教育 (Education Sustainable Development = ESD)』と捉え、様々な教育課程に各学年の能力に応じた環境の保全と創造に関する学習を結びつけている。学校が主体となり保護者、地域、企業、行政機関等と協働の視点で、地域の特性を活かし、地域の良さを実感させ、地域を学び、自然を守り、ふる里『山南』に貢献できる人間性豊かで、たくましい山南っ子の育成と主体性を持って環境問題に対する興味と関心を喚起するとともに、自主的に行動できる心と態度を養う環境教育を推進している。児童会活動を中心に、毎日食品トレーを回収し、児童と教職員の家庭はもちろんのこと、地域の皆様にも協力をしてもらい、学校に持ち寄ったトレーのリサイクル活動を推進している。

なお、児童が主体的に活動できるように給食用牛乳パックや空き缶、ダンボールの回収、テーマ別環境出前授業、環境関連施設の見学、緑のカーテン、省エネ・節電行動、環境ポスターの作成・掲示、学校緑化、農業体験など校内学習のみでなく屋外での体験型活動や学習を積極的に取り入れ、保護者や地域の団体、企業、行政の全面的支援のもと、様々な視点から地球環境を守る大切さや食の大切さ、労働の大切さを一体化し、また実感させ「言われたからやる」ではなく「言われなくてもできる」人間形成に努めている。

今年度からは、「山南小エコクラブ」を創設し、エコクラブが同校のリーダーとなり、全校児童と教職員、家庭、地域が連携して、身近にできる環境に優しい行動を実践して行くこととしている。

また、環境教育、環境学習を継続的に実施することにより、日常生活の中で身近に取り組めることを気付かせ、児童が主体的に疑問や意見を出し合うことによって、学年を問わず自らが積極的な行動を実践できることが身に付いている。

この地域から地道な活動を継続することで環境問題の解決に繋がることと信じ、「できる時に」「できることを」実践している。

